

デジタル指示計

AG500 操作説明書

All Rights Reserved, Copyright © 2007, RKC INSTRUMENT INC.

IMR02F07-J4

本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みいただき、内容を理解された上でご使用ください。
なお、本書は大切に保管し、必要なときにご活用ください。
本書はAG500の操作方法について説明したものです。

設置・配線、各部の名称、仕様および通信機能（オプション）については、必要に応じて、以下に示す取扱説明書を参照してください。

- AG500 設置・配線取扱説明書 (IMR02F06-J口): 製品添付
- AG500 通信簡易取扱説明書 (IMR02F08-J口): 通信機能付きの場合のみ製品添付別冊
- AG500 通信取扱説明書 (IMR02F09-J口):

別冊の説明書は、当社ホームページからダウンロードできます。
ホームページアドレス http://www.rkcinst.co.jp/down_load.htm

1. 取扱手順

設置・配線

電源 ON

使用条件の設定

動作条件の設定

警報の設定

運 転

AG500 設置・配線取扱説明書 (IMR02F06-J口) を参照

使用するセンサにあわせて使用条件を設定します。
4.2 セットアップ設定モードを参照

本機器の基本動作に関わる動作条件を設定します。
4.4 エンジニアリングモードを参照

警報設定値を設定します。
4.3 パラメータ設定モードを参照

2. データの設定方法

変更した内容を登録する際は、必ず SET キーを押します。

- アップキー、ダウンキーの操作だけでは、変更した内容は登録されません。
- 設定値変更した後に、登録操作をせずに1分間経過すると、測定値 (PV) 表示に戻ります。
このような場合も、変更した内容は登録されません。

例: 第 1 警報設定値 (AL1) を 20 °C に変更する場合

1. パラメータ設定モードの第 1 警報設定値 (AL1) 画面に切り換える

電源 ON

自動

測定値 (PV)

50

パラメータ設定モード

ホルドリセット

第 1 警報設定値

AL1

入力種類と単位を表示後 (約 4 秒間)、測定値 (PV) へ切り換わります。

2 秒以上押す

数回押す

2. 第 1 警報設定値 (AL1) を 20 °C に変更する

<MONI キーを押すと、データ表示に切り換わります。明点灯している桁が設定変更できます。

第 1 警報設定値

AL1

明点灯

0050

明点灯

0050

0020

数値を「2」にします。

3 回押す

3. 第 1 警報設定値 (AL1) を登録する

第 1 警報設定値

0020

登録

第 2 警報設定値

AL2

表示は次のパラメータに切り換わります

他のパラメータを設定する場合も、設定手順は同様です。

3. モードおよびパラメータの切換方法

本製品は 1 分以上キー操作をしないと、測定値 (PV) 画面に戻ります。
仕様(ない項目)のパラメータは表示されません (エンジニアリングモードは除く)。

電源 ON

自動

入力種類
単位表示

自動 (約 4 秒間表示)

入力種類記号
右表参照

単位表示記号
熱電対/測温
抵抗体入力: °C
電圧/電流入力:
表示なし

入力種類記号
記号 入力種類
K 熱電対 K
J 熱電対 J
T 熱電対 T
S 熱電対 S
R 熱電対 R
E 熱電対 E
B 熱電対 B
N 熱電対 N
PLII 熱電対 PLII
W5ReW26Re 熱電対 W5ReW26Re
U 熱電対 U
L 熱電対 L
Pt100 測温抵抗体 Pt100
JPt100 測温抵抗体 JPt100
mV.V 電圧 (mV.V)
mA 電流 (mA)

モニタモード

測定値 (PV)

28

ピーク値を表示

ピークホルド
モニタ

PHLd

ボトム値を表示

ボトムホルド
モニタ

bHLd

測定値 (PV) へ戻る

パラメータ設定モード

ホルドリセット

HLdr

インターロック
解除

ILr

第 1 警報設定値²
(AL1)

AL1

第 2 警報設定値²
(AL2)

AL2

第 3 警報設定値²
(AL3)

AL3

第 4 警報設定値²
(AL4)

AL4

第 5 警報設定値²
(AL5)

AL5

第 6 警報設定値²
(AL6)

AL6

ホルドリセット (HLdr) へ戻る

¹ インターロック不使用の場合は表示されません。
² 警報機能なしの場合は表示されません。

エンジニアリングモード

ファンクション
ブロック 10

F10

ファンクション
ブロック 21

F21

ファンクション
ブロック 33

F33

ファンクション
ブロック 41

F41

ファンクション
ブロック 60

F60

ファンクション
ブロック 91

F91

ファンクション
ブロック 10

F10

PV 表示条件

dSoP

入力異常判断点
上限

PoH

入力異常判断点
下限

PUn

伝送出力
スケール上限

AHS

伝送出力
スケール下限

ALS

第 1 警報種類

AS1

第 1 警報待機動作

AHo1

第 1 警報
インターロック

ILS1

第 1 警報出力の
励磁/非励磁

EYC1

第 1 警報動作すきま

AH1

第 1 警報遅延タイマ

ALF1

第 1 警報
入力異常時の動作

AEo1

通信プロトコル

EnP

通信データ桁数

dGr

ROM バージョン
モニタ

C448

積算稼働時間
モニタ

Gr

周囲温度ピーク
ホルド値モニタ

FCJ

第 1 警報設定値 (AL1) を 20 °C に変更する場合

1. パラメータ設定モードの第 1 警報設定値 (AL1) 画面に切り換える

電源 ON → 自動 → 測定値 (PV) 50 → パラメータ設定モードホルドリセット → 第 1 警報設定値 AL1

* 入力種類と単位を表示後 (約 4 秒間)、測定値 (PV) へ切り換わります。

2 秒以上押す

数回押す

2. 第 1 警報設定値 (AL1) を 20 °C に変更する

<MONI キーを押すと、データ表示に切り換わります。明点灯している桁が設定変更できます。

第 1 警報設定値 AL1 → 明点灯 0050 (データ表示) → 明点灯 0050 → 十位の桁を明点灯させます。 → 数値を「2」にします。 → 3 回押す → 0020

3. 第 1 警報設定値 (AL1) を登録する

第 1 警報設定値 0020 → 登録 → 第 2 警報設定値 AL2 → 表示は次のパラメータに切り換わります

他のパラメータを設定する場合も、設定手順は同様です。

ファンクションブロック 42~46 (F42.~F46.) が表示されます。
ファンクションブロック 42 (F42.): 第 2 警報のパラメータ
ファンクションブロック 43 (F43.): 第 3 警報のパラメータ
ファンクションブロック 44 (F43.): 第 4 警報のパラメータ
ファンクションブロック 45 (F45.): 第 5 警報のパラメータ
ファンクションブロック 46 (F46.): 第 6 警報のパラメータ
内容はファンクションブロック 41 (F41.) と同じです。

4. パラメーター一覧

4.1 モニタモード

記 号	名 称	データ範囲	説 明
—	測定値 (PV)	入カスケール下限～入カスケール上限	測定値 (PV) を表示します。
PHLd (PHLd)	ピークホルド モニタ ¹	入カスケール下限～入カスケール上限	測定値 (PV) の最大値を表示します。
bHLd (bHLd)	ボトムホルド モニタ ¹	入カスケール下限～入カスケール上限 入カ断線時: 表示限界値 ²	測定値 (PV) の最小値を表示します。

¹ ホールドのリセットは、パラメータ設定モードのホルドリセット (HLdR)、またはデジタル入力 1 (DI1、13-14 番端子間) で行えます。また、電源を OFF にした場合や、入力種類 (InP)、表示単位 (UnIT) および入力小数点位置 (PGdP) の設定値を変更した場合もリセットされます。
² 電圧(高)入力 (DC 0~10 V、DC 0~5 V、DC 1~5 V、DC ±1 V) および電流入力は無効です。

4.2 セットアップ設定モード

記 号	名 称	データ範囲	説 明	出荷値
InP (InP)	入力種類	0~26 入力種類番号表を参照	入力の種類です。	型式コードによって異なる 指定なしの場合: 0
UnIT (UnIT)	表示単位	0: °C (0 固定)	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力の表示単位です。	0
PGdP (PGdP)	入力小数点位置 ¹	0: 小数点なし 1: 小数点以下 1 桁 2: 小数点以下 2 桁 3: 小数点以下 3 桁 4: 小数点以下 4 桁	入力表示値の小数点位置です。	型式コードによって異なる 指定なしの場合: 0
SCH (SCH)	入カスケール上限 ²	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力: 入カスケール下限～入カスケールの最大値 電圧 (V)/電流 (I) 入力: -19999~+19999	入カスケール範囲の上限値です。 TC/RTD 入力: 入カレンジの最大値 V/I 入力: 100.0 指定なしの場合: +1372	型式コードによって異なる
SCL (SCL)	入カスケール下限 ²	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力: 入カレンジの最小値～入カスケール上限 電圧 (V)/電流 (I) 入力: -19999~+19999	入カスケール範囲の下限値です。 TC/RTD 入力: 入カレンジの最小値 V/I 入力: 0.0 指定なしの場合: -200	型式コードによって異なる
Pb (Pb)	PV バイアス ²	-入カスパン～+入カスパン	センサ補正等を行う測定値に加えるバイアスです。	0
dF (dF)	PV デジタルフィルタ	0.1~100.0 秒 oFF: 不使用	測定入力に対するノイズの低減をはかる、一次遅れフィルタの時間です。	oFF

¹ 入力小数点位置のデータ範囲

入力の種類	データ範囲
熱電対 (TC) 入力	小数点なしの入カレンジの場合 0 小数点以下 1 桁の入カレンジの場合 0、1
測温抵抗体 (RTD) 入力	小数点以下 1 桁の入カレンジの場合 0、1 小数点以下 2 桁の入カレンジの場合 0~2
電圧 (V)/電流 (I) 入力	[通信データ桁数が 6 桁の場合は 0~3] 0~4

AG500 設置・配線取扱説明書 (IMR02F06-J口) を参照してください。

² 小数点位置は入力小数点位置設定によって異なります。電圧/電流入力の場合は、入カスケール上限値を入カスケール下限値よりも小さく設定することが可能です。

入力種類番号表

設定値	入力種類	ハードウェア	設定値	入力種類	ハードウェア
0	熱電対 K	低電圧グループ	13	測温抵抗体 JPt100	低電圧グループ
1	熱電対 J		14	電流 DC 0~20 mA	
2	熱電対 R		15	電流 DC 4~20 mA	
3	熱電対 S		19	電圧 (低) DC 0~1 V	
4	熱電対 B		20	電圧 (低) DC 0~100 mV	
5	熱電対 E		21	電圧 (低) DC 0~10 mV	
6	熱電対 N		25	電圧 (低) DC ±100 mV	
7	熱電対 T		26	電圧 (低) DC ±10 mV	
8	熱電対 W5ReW26Re		16	電圧 (高) DC 0~10 V	
9	熱電対 PLII		17	電圧 (高) DC 0~5 V	
10	熱電対 U		18	電圧 (高) DC 1~5 V	
11	熱電対 L		24	電圧 (高) DC ±1 V	
12	測温抵抗体 Pt100	22、23	設定しないでください。		

入力種類を変更すると、入力小数点位置、入カスケール上限、入カスケール下限などが初期化されますので、再設定が必要です。

低電圧グループまたは高電圧グループを変更する場合は、入力切換スイッチによる切り換えが必要です。左側の測定入力用スイッチを、精密ドライバーで切り換えてください。

入力切換スイッチ

低電圧グループ

高電圧グループ

変更しないでください。

測定入力用

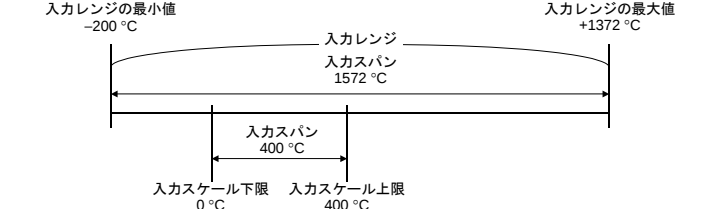
(上から見た図)

記 号	名 称	データ範囲	説 明	出荷値
P_r (Pr)	PV レシオ	0.500～1.500	センサ補正等を行う測定値に対して加えるレシオ (倍率) です。	1.000
PLC (PLC)	PV 低入力カutoff	入カスパンの0.00～25.00 % 開平演算なしの場合は表示されません。	開平演算の結果により、変動の大きい入力値の開平演算なしの場合は表示されません。	0.00
Add (Add)	デバイスアドレス	通信機能 [オプション] 付きの場合に表示されます。 AG500 通信簡易取扱説明書 (IMR02F08-JIC) を参照		
bPS (bPS)	通信速度			
blΓ (blΓ)	データビット構成			
InΓ (InΓ)	インターバル時間			
LCK (LCK)	設定ロックレベル	0: 設定可 (ロック解除) 1: 設定不可 (ロック) 桁ごとに、0 または 1 を設定します。	キー操作によるパラメータの設定変更を制限します (設定データロック機能)。	0000
0000 ← PV 表示器の表示 警告設定値 (AL1～AL6) を除いたセツアップ設定モードとパラメータ設定モードのパラメータ (エンジニアリングモードのパラメータは除く) 警告設定値 (AL1～AL6) のみ 0 固定 (変更禁止) 0 固定 (変更禁止)				

■ 入カスケール上限／下限

温度入カ (TC/RTD) の場合は、入カレンジの範囲を変更できます。
電圧 (V)／電流 (I) 入カの場合は、表示を-19999～+19999 の範囲でスケールリングできます。

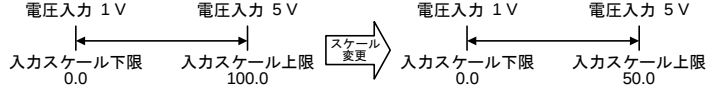
温度入カ例: 熱電対 K -200～+1372 °C を 0～400 °C に変更した場合



入カスケール範囲外では、PV 表示が点滅表示します。警報の設定は、入カスケール範囲内となります。

電圧 (V)／電流 (I) 入カ例:

電圧入カ DC 1～5 V のとき、表示範囲を 0.0～100.0 から 0.0～50.0 に変更した場合



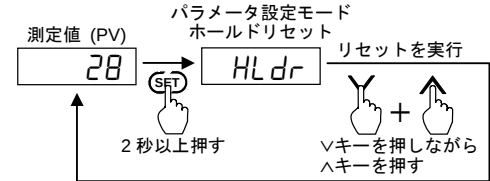
電圧入カが 1 V のとき→ 0.0 を表示
電圧入カが 5 V のとき→ 100.0 を表示

4.3 パラメータ設定モード

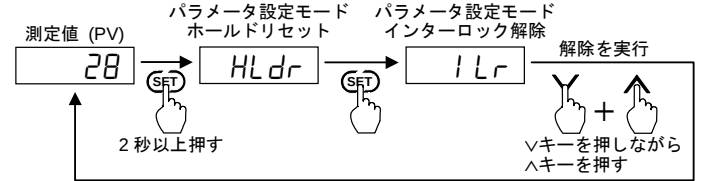
記 号	名 称	データ範囲	説 明	出荷値
HLdr (HLdr)	ホールドリセツ *	—	ピークホールド／ボトムホールド値をリセツトします。	—
ILr (ILr)	インターロック解除 *	—	第 1 警報～第 6 警報のインターロック機能は、表示されません。	—
AL 1 (AL1)	第 1 警報設定値	入カスケール下限～入カスケール上限	警報設定値です。警報設定値を超えると、警報出力 (ALM1～ALM6) から信号を出力します。	50
AL 2 (AL2)	第 2 警報設定値	警報機能なしの場合は表示されません。注文時にイニシヤルセツトコードで警報機能が指定されていない場合は、「警報機能なし」になっています。警報機能を使用する場合は警報種類 (AS1～AS6) を「1: 上限入力値警報」または「2: 下限入力値警報」に設定してください。	小数点位置は入カ小数点位置設定によって異なります。	50
AL 3 (AL3)	第 3 警報設定値	警報設定値		50
AL 4 (AL4)	第 4 警報設定値	警報設定値		50
AL 5 (AL5)	第 5 警報設定値	警報設定値		50
AL 6 (AL6)	第 6 警報設定値	警報設定値		50

* ホールドリセツトおよびインターロック解除は、デジタル入カでも実行できます。
DI1 (13-14 番端子間): ホールドリセツト DI2 (13-15 番端子間): インターロック解除
設定・配線取扱説明書 (IMR02F06-JIC) を参照してください。

● ホールドリセツト手順



● インターロック解除手順



4.4 エンジニアリングモード

警告 エンジニアリングモード (F10～F91) の内容は、使用条件にあわせて最初に設定するデータであり、その後、通常に使用されている限りでは変更の必要がない項目です。また、むやみに設定を変更すると、機器の誤動作、故障の原因となりますので注意してください。この場合の機器故障、破損については、当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
--

エンジニアリングモードのパラメータは、計器仕様にかかわらず、すべて表示されます。

記 号	名 称	データ範囲	説 明	出荷値
F 10. (F10)	ファンクションブロック 10	ファンクションブロック 10 の最初のパラメータです。		
dSoP (dSoP)	PV 表示条件	0～255 (10 進数) Bit 0: PV 値のマイナス表示 Bit 1: 入力異常時 ¹ Bit 2: 第 1 警報発生時 Bit 3: 第 2 警報発生時 Bit 4: 第 3 警報発生時 Bit 5: 第 4 警報発生時 Bit 6: 第 5 警報発生時 Bit 7: 第 6 警報発生時	測定値 (PV) の点滅表示条件の設定と PV 値のマイナス表示 (電圧／電流入カの場合に有効) の設定です。警報発生時は、点滅ありに設定すると、測定値 (PV) と警報番号を交互に表示します。ビットデータ ↑ 00000000 ↑ Bit 7…………… Bit 0 ビットデータを 10 進化して設定します。	0
データ Bit 0 の場合 0: マイナス表示あり 1: マイナス表示なし		Bit 1～Bit 7 の場合 0: 点滅なし 1: 点滅あり		

F 21. (F21)	ファンクションブロック 21	ファンクションブロック 21 の最初のパラメータです。		
PoH (PoV)	入力異常判断点上限 ²	入カスケール下限- (入カスパンの 5 %)～入カスケール上限+ (入カスパンの 5 %)	入力測定値が入カ異常判断点上限以上になると入力異常の警報動作を行います。	Note 1
PUn (PU _n)	入力異常判断点下限 ²	入カスケール下限- (入カスパンの 5 %)～入カスケール上限+ (入カスパンの 5 %)	入力測定値が入カ異常判断点下限以下になると入力異常の警報動作を行います。	Note 1
brKS (brKS)	バーンアウト方向	0: アップスケール 1: ダウンスケール 熱電対入カと電圧 (低) 入カ ³ の場合に有効です。	入カ断線時におけるバーンアウト方向です。	0

Sqr (SQr)	開平演算	0: 開平演算なし 1: 開平演算あり	測定値 (PV) に対する、開平演算の有無です。	0
F 33. (F33)	ファンクションブロック 33	ファンクションブロック 33 の最初のパラメータです。		
AHS (AHS)	伝送出力スケール上限 ²	伝送出力スケール下限～入カスケール上限	伝送出力のスケール上限値です。	入カスケール上限
ALS (ALS)	伝送出力スケール下限 ²	入カスケール下限～伝送出力スケール上限	伝送出力のスケール下限値です。	入カスケール下限
F 41. (F41) : F 46. (F46)	ファンクションブロック 41 : ファンクションブロック 46	ファンクションブロック 41～46 の最初のパラメータです。 F41: 第 1 警報のパラメータ F45: 第 5 警報のパラメータ F42: 第 2 警報のパラメータ F46: 第 6 警報のパラメータ F43: 第 3 警報のパラメータ F44: 第 4 警報のパラメータ		
AS 1 (AS1) : AS 6 (AS6)	第 1 警報種類 : 第 6 警報種類	0: 警報機能なし 1: 上限入力値警報 2: 下限入力値警報	警報の種類です。	型式コードによって異なる 指定なしの場合: 0
AHo 1 (AHo1) : AHo 6 (AHo6)	第 1 警報待機動作 : 第 6 警報待機動作	0: 待機なし 1: 待機あり	警報の待機動作の選択です。	型式コードによって異なる 指定なしの場合: 0

¹ 点滅ありに設定すると、以下のときに測定値 (PV) を点滅表示します。

- 測定値 (PV) が、入カスケール上限または下限を超えたとき
- 測定値 (PV) が、入力異常時判断点上限または下限を超えたとき

² 小数点位置は入カ小数点位置設定によって異なります。

³ 電圧 (低) 入カ: DC 0～10 mV、DC ±10 mV、DC 0～100 mV、DC ±100 mV、DC 0～1 V

Note 1 入力異常判断点上限／下限の出荷値

	熱電対 (TC)／測温抵抗体 (RTD) 入カ	電圧 (V)／電流 (I) 入カ
入力異常判断点上限	入カスケール上限 + (入カスパンの 5 %)	+105.0
入力異常判断点下限	入カスケール下限 - (入カスパンの 5 %)	-5.0

記 号	名 称	データ範囲	説 明	出荷値
ILS 1 (ILS1) : ILS 6 (ILS6)	第 1 警報 インターロック : 第 6 警報 インターロック	0: 不使用 (機能 OFF) 1: 使用	警報のインターロック機能の選択です。	0
EXC 1 (EXC1) : EXC 6 (EXC6)	第 1 警報出力の励磁／非励磁 : 第 6 警報出力の励磁／非励磁	0: 励磁 1: 非励磁	警報の励磁／非励磁の選択です。	0
AH 1 (AH1) : AH 6 (AH6)	第 1 警報動作すきま : 第 6 警報動作すきま	0～入カスパン	警報の動作すきまです。小数点位置は入カ小数点位置設定によって異なります。	2
ALT 1 (ALT1) : ALT 6 (ALT6)	第 1 警報遅延タイム : 第 6 警報遅延タイム	0.0～600.0 秒	警報が、警報設定値を超えてから、警報状態になるまでの遅延時間です。	0.0
AEo 1 (AEo1) : AEo 6 (AEo6)	第 1 警報 入力異常時の動作 : 第 6 警報 入力異常時の動作	0: 通常の警報動作 1: 強制警報 ON 測定値 (PV) が入力異常判断点上限値または下限値を超えたときの動作を選択します。	測定値 (PV) が入力異常判断点上限値または下限値を超えたときに強制的に警報を ON にします。	0

F 60. (F60)	ファンクションブロック 60	ファンクションブロック 60 の最初のパラメータです。		
CnP (CMP)	通信プロトコル	0: RKC 通信 1: MODBUS	通信機能のプロトコルです。	0
dGT (dGT)	通信データ桁数 *	0: 6 桁 1: 7 桁	RKC 通信における通信データの桁数です。	1
F 91. (F91)	ファンクションブロック 91	ファンクションブロック 91 の最初のパラメータです。		
C448 (C448)	ROM バージョンモニタ	0～999 (C448-□□□)	搭載されている ROM のバージョンです。	—
Γ (WT)	積算稼働時間モニタ	0～19999 時間	本機器の積算稼働時間です。	—
ΓCJ (TCJ)	周囲温度ピークホールド値モニタ	-10.0～+100.0 °C	本機器表面端子部の周囲温度の最大値です。	—

* 表示限界値は下表のようになります。

入カ小数点位置	通信データ桁数が 6 桁の場合	通信データ桁数が 7 桁の場合 (出荷値)
小数点なし	-9999～+19999	-19999～+19999
小数点以下 1 桁	-999.9～+1999.9	-1999.9～+1999.9
小数点以下 2 桁	-99.99～+199.99	-199.99～+199.99
小数点以下 3 桁	-9.999～+19.999	-19.999～+19.999
小数点以下 4 桁	なし	-1.9999～+1.9999

■ 警報機能 [オプション]

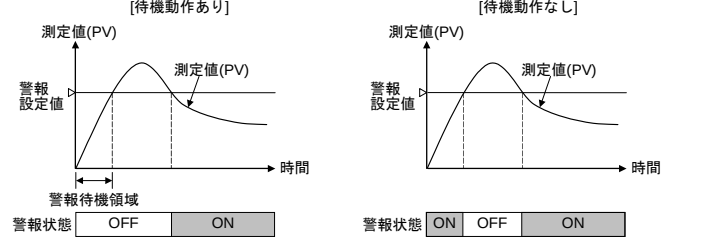
動作: 測定値 (PV) が警報設定値に達すると、警報 ON 状態となります。



● 警報待機動作

待機動作は、電源を ON にしたときに測定値 (PV) が警報状態にあっても、これを無視して測定値 (PV) が一度警報状態から抜けるまで警報機能を無効にする動作です。測定値 (PV) が警報 OFF 領域に入ると待機動作は解除されます。

例: 下限入力値で警報待機動作を使用した場合



● 警報インターロック

測定値 (PV) が一度警報状態の領域に入ると、その後、測定値 (PV) が警報状態の領域を外れても警報状態を保持する機能です。

● 警報の動作すきま

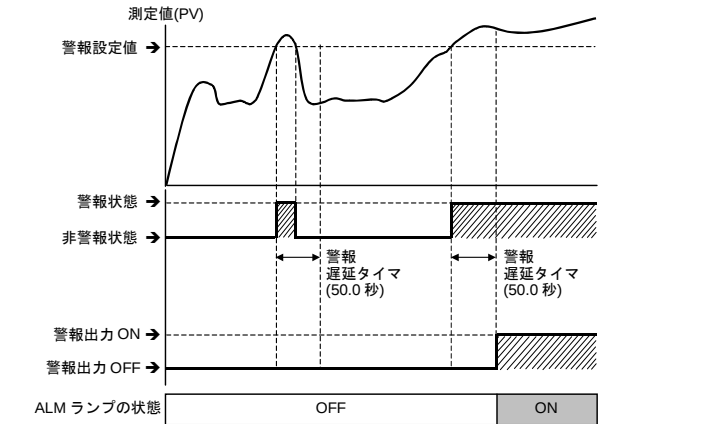
測定値 (PV) が警報設定値付近にあると入カのみによって、警報のリレー接点が ON、OFF をくり返すことがあります。警報の動作すきまを設定すると、リレー接点の ON、OFF のくり返しを防ぐことができます。

● 警報遅延タイム

警報状態が遅延タイム時間を超えた場合に警報出力を ON にする機能です。測定値 (PV) が警報設定値を超えた時点で遅延タイムが動作し、遅延タイム設定時間を経過しても、測定値 (PV) が警報設定値を超えていた場合に警報出力が ON になります。

なお、遅延タイムが動作中に警報状態が解除された場合は、警報出力は ON になりません。

例: 警報遅延タイムの設定が 50.0 秒の場合

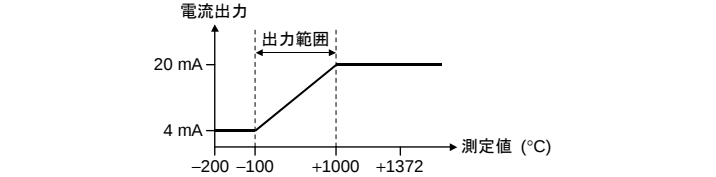


■ 伝送出力機能 (AO) [オプション]

伝送出力は、測定値 (PV) を電圧／電流信号として出力する機能です。また、伝送出力スケール下限、伝送出力スケール上限を設定すると、測定値 (PV) の任意の範囲を出力することができます。

例: 入カレンジが-200～+1372 °C の場合に、測定値 (PV) の-100～+1000 °C 間を

レコーダに記録する場合
出力信号種類: 電流出力 DC 4～20 mA
伝送出力スケール上限 (AHS): +1000 °C
伝送出力スケール下限 (ALS): -100 °C



5. 異常時の表示

■ 入力異常時の表示

センサ交換を行う場合には、必ず電源を OFF にしてください。

表示	内容	警報出力	対処方法
PV [点滅表示] *	PV が入カスケール上限または下限を超えたときに点滅表示	入力異常時の警報動作に従って出力する	入カの種類、入カ範囲、センサおよびセンサの接続などの確認をしてください。
	PV が入力異常判断点上限または下限を超えたときに点滅表示		
oooo [点滅表示]	オーバースケール PV が入カスケール上限+ (入カスパンの 5 %) を上回ったときに点滅表示	通常の警報動作に従って出力する	
uuuu [点滅表示]	アンダースケール PV が入カスケール下限- (入カスパンの 5 %) を下回ったときに点滅表示	入力異常時の警報動作に従って出力する	

* エンジニアリングモード F10 の PV 表示条件 (dSoP) の設定に従って点滅します。

■ 自己診断時のエラー表示

自己診断機能による異常時の表示は、PV 表示器に「Err」¹とエラー番号を交互に表示します。複数のエラーが同時に発生した場合は、エラー番号の合計値を表示します。

対処方法: 一度、電源を OFF にしてください。電源を再度 ON にした後もエラー状態になる場合は、そのエラー番号を当営業所または代理店までご連絡ください。

PV 表示器	内 容	動 作
1	調整データ異常	表示: エラー表示 (Err とエラー番号)
2	データバックアップエラー	
4	A/D 変換値異常	出力: すべて OFF (電源 OFF 時と同じ状態) 通信: エラーコードを送信
128	ウォッチドックタイム	
256	スタックオーバーフロー	表示: すべて消灯 出力: すべて OFF 通信: 通信停止
2048	プログラムビジー	
全表示 消灯	電源電圧の異常	
	RAM チェック異常	

MODBUS は Schneider Electric の登録商標です。 その他、本書に記載されている会社名や商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。		初 版: 2007 年 11 月 [IMQ00] 第 4 版: 2014 年 6 月 [IMQ00]	
RKC® 理化工業株式会社 RKC INSTRUMENT INC.		本 社 〒146-8515 東京都大田区久が原 5-16-6 [ホームページ: http://www.rkcinst.co.jp/] TEL (03)3751-8111(代) FAX (03)3754-3316 JUN. 2014	
技術的なお問い合わせは、カスタマーサービス専用電話 TEL (03) 3755-6622 をご利用ください。 The English manuals can be downloaded from the official RKC website: http://www.rkcinst.com/english/manual_load.htm .			